

2013 年度第 5 回 長崎大学経済学部ファカルティセミナー

2013 年度第 5 回長崎大学経済学部ファカルティセミナーを以下の要領で行います。教職員、大学院生、学生の参加をお待ちしています。

日 時：2013 年 10 月 29 日（火） 12:50～14:20

場所：東南アジア研究所 1 階 ファカルティセミナー室

報告者：山口 純哉（長崎大学経済学部）

報告タイトル：阪神淡路大震災の教訓を踏まえた東日本大震災からの地域経済復興にかかる課題

要旨：

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から 2 年半を経た今、被災地は、雇用や所得の回復にかかる経済的な問題、コミュニティや生活環境の回復にかかるまちづくりの困難等に直面している。また、被災地内の地域間には、経済復興にかかる格差が生じている。

自然災害からの地域経済復興にかかる研究は、1995 年の阪神淡路大震災から本格化した。それらに含まれる学界から提案、たとえば、経済・経営分野から提起された「グローバル化や少子高齢化・人口減少などを踏まえれば、被災地の中小企業、ひいては地域経済の復興には、工場再建等のハード整備に加えて、経営戦略の転換等、ソフト整備が求められる」等の妥当性にかかる評価は行われていない。そして、このような評価が不在である結果、東日本大震災からの復興においても、地域経済、それを支える産業復興にかかる支援施策がハード整備を中心に進められており、混乱を来している例が散見される。

本研究は、阪神淡路大震災から学ぶべき地域経済復興、特に産業集積の復興にかかる教訓を明らかにした上で、東日本大震災からの地域経済復興にかかる課題について検討しようとするものであり、未だ緒についたばかりである。したがって、本報告では、報告者の問題意識の妥当性や研究の方向性について、現在の研究計画等を紹介しながら、参加者の多様な意見を仰ぎたい。

ファカルティセミナーでの報告を希望される方は、研究委員会ファカルティセミナー担当者（大倉）までご連絡下さい（メール：okura@nagasaki-u.ac.jp 内線：328）。また外部者による報告も受け付けています。